

碧南市 防災 ハンドブック

① 災害を知る

② 災害に備える

③ 災害時の対処

目次

① 災害を知る

碧南市で想定される自然災害	①
大雨・台風 碧南市を流れる川の特徴	②
大雨・台風 洪水(外水氾濫)と内水氾濫	③
大雨・台風 高潮、土砂災害	④
大雨・台風 高潮で起こる被害	⑤
大雨・台風 洪水で起こる被害	⑥
地震 碧南市で想定される地震	⑦
地震 地震に関して発表される情報	⑧
地震 地震で起こる被害	⑨



高潮



洪水(外水氾濫)

② 災害に備える

大雨・台風 地震 非常持出品と備蓄品	⑩～⑪
大雨・台風 地震 自宅外の備え	⑫
大雨・台風 地震 自宅内の備え	⑬
大雨・台風 マイ・タイムラインの作り方	⑭～⑮
大雨・台風 地震 災害情報の確認方法	⑰～⑲
大雨・台風 大雨・台風の時に役立つ災害情報	⑲
地震 マイ・タイムラインの作り方	⑳～㉓



津波



地震

③ 災害時の対処

大雨・台風 避難先へ行く時は	㉔
大雨・台風 やむなく浸水の中を歩く時は	㉕
地震 外出先で地震にあった時は	㉖
地震 避難先へ行く時は	㉗
地震 自宅から離れた場所にいる時は	㉗
避難所の過ごし方	㉘
在宅避難・車中避難の方法	㉙
被災した時のために覚えておきたいこと	㉚



土砂災害

碧南市で想定される自然災害

碧南市で想定される主な災害には、大雨・台風による洪水（がいすい外水氾濫）、ないすい内水氾濫、高潮、がけ崩れや、地震による揺れ、火災、液状化、津波があります。

大雨・台風

気候変動の影響で、巨大台風や大雨による水害が起きやすくなってきています。



洪水 がいすい（外水氾濫）

川の水が堤防を越えたり壊れたりすることで、街に水が流れ込みます。市全域で警戒が必要です。

ないすい内水氾濫

雨水が下水道などで排水できず街に水があふれます。市全域で警戒が必要です。

高 潮

台風や低気圧の影響で海水面が上昇し、防潮堤や堤防を越えて街に水が流れ込みます。市全域で警戒が必要です。

がけ崩れ

大雨で地盤がゆるみ、がけが崩れます。大雨と地震が重なるとがけが崩れやすくなります。土砂災害（特別）警戒区域に指定されている付近で警戒が必要です。

地震

南海トラフ地震、内陸型地震などが起これば、大きな被害を受けます。



揺 れ

大きな揺れで、建物やブロック塀が倒れたり家具が転倒したりします。市全域で警戒が必要です。

火 災

台所の火や、電気機器の破損により、火災が発生します。消防活動は制限されるため、火災が拡大します。大浜、棚尾、新川、鷺塚、西端地区で警戒が必要です。

液状化

液状化が発生すると、建物が傾いたり、道路が凸凹になったりします。大浜、川口、前浜、日進、沿岸部および油ヶ淵周辺で警戒が必要です。

津 波

海水が大きな塊となって、繰り返し沿岸に押し寄せます。市全域で警戒が必要です。

がけ崩れ

地震の揺れにより、がけが崩れます。大雨と地震が重なるとがけが崩れやすくなります。土砂災害（特別）警戒区域に指定されている付近で警戒が必要です。

大雨・台風 碧南市を流れる川の特徴

碧南市を流れる川には、矢作川と、高浜川・^{しじみ}蜷川があります。

●矢作川と高浜川の洪水の起こり方の違い

降った雨が川に集まる範囲を流域といいます。矢作川の流域は愛知県、岐阜県、長野県に及ぶため、碧南市を始めとした下流域で雨が少ない場合でも、中上流部で大雨があった場合は矢作川で水位が上がる可能性があります。あるいは、下流域で雨がやんだあとに、上流域での大雨が下流に到達する可能性があります。特に、矢作ダムが緊急放流を開始した時は、数時間後に碧南付近で急激な水位上昇が起こります。

高浜川の流域は安城市、高浜市に及ぶため、安城市、高浜市で局地的な大雨があった場合は、高浜川、長田川、油ヶ淵および新川で水位が上がる可能性があります。

●矢作川は、氾濫流による家屋倒壊に注意

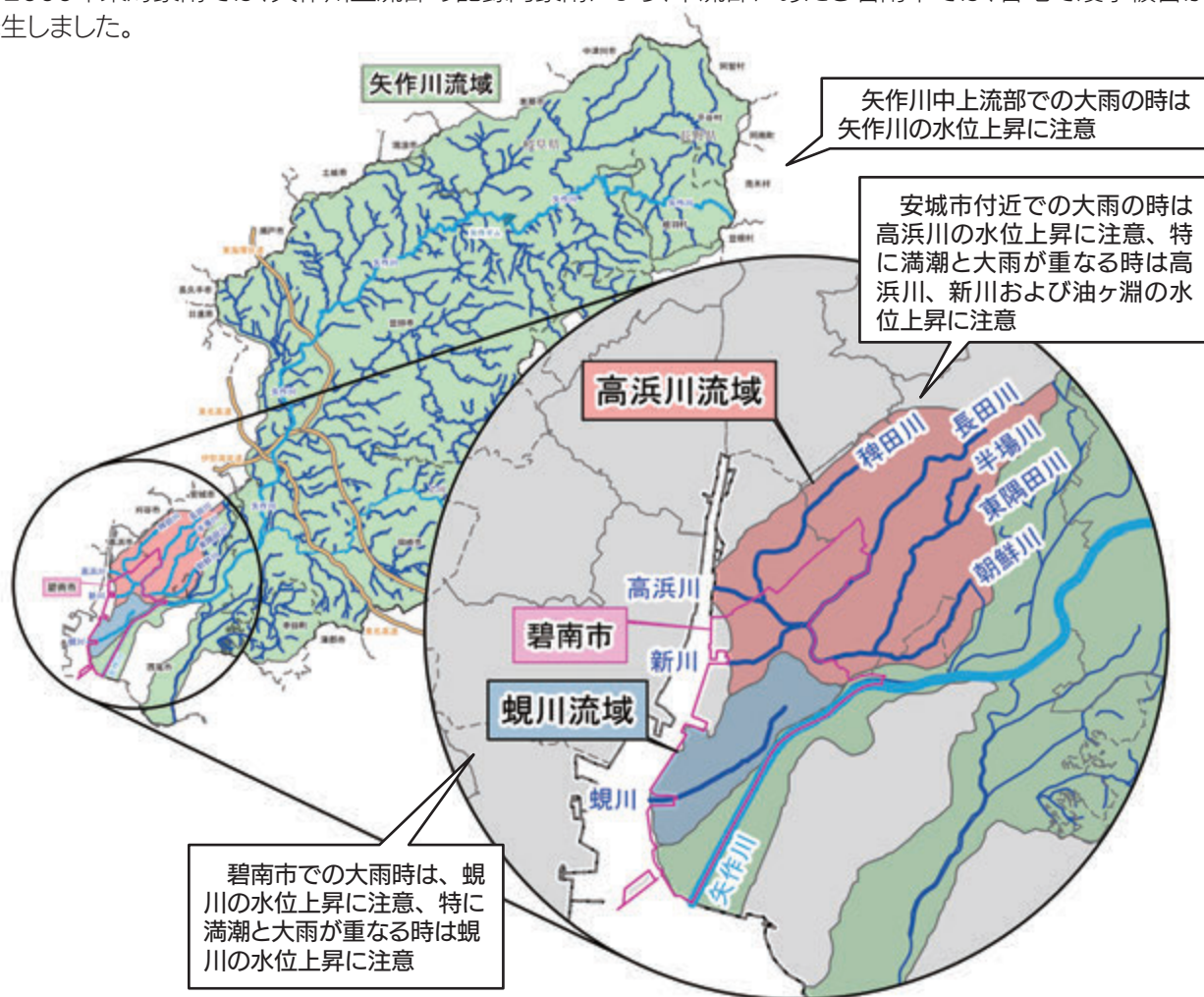
矢作川は周辺の地盤に比べて洪水時の水位が高いことから、堤防が決壊した場合は、速い流れの水が流れ込むため、水の流れにより家屋が倒壊する可能性があります。

この可能性がある区域は、家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）として指定されています。この区域からは、早期に立退き避難が必要です。『矢作川洪水ハザードマップ』

●矢作川と高浜川・蜷川の流域

下の図は、矢作川と高浜川・蜷川の流域を示したものです。

2000年東海豪雨では、矢作川上流部の記録的豪雨により、下流部にあたる碧南市では、各地で浸水被害が発生しました。

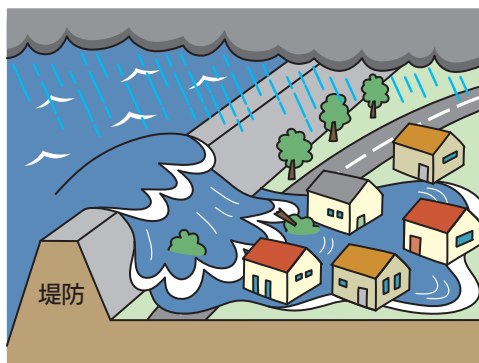


大雨・台風 洪水(外水氾濫)と内水氾濫

●洪水（外水氾濫）と内水氾濫の違い

氾濫の発生イメージ

洪水（外水氾濫）



堤防が破壊するなどで川の水が溢れ出し、浸水被害が発生

内水氾濫



雨量が下水道などの排水能力を超えたり、低い場所にたまることで、浸水被害が発生

発生の仕方が違います

大雨によって河川水位が高くなると、堤防を越えて水があふれたり(越水)、堤防が壊れたり(決壊、破堤)することがあります。このようなことが原因で生じる氾濫のことを外水氾濫といいます。



猛烈な豪雨が降ると、側溝や下水道の排水能力が追い付かなかったり、河川の水位が上昇して排水できないことがあります。このように、地域に降った雨を排水しきれずにその地域で水があふれた状態のことを内水氾濫といいます。



浸水エリアが違います

どの河川の氾濫かによって浸水エリアが異なりますが、川に近く低い土地ほど浸水が生じやすく、浸水深が深くなります。

降った雨の規模によって、地盤の低い場所や川沿いなど、市内のいたるところで内水氾濫による浸水が生じる可能性があります。

危険度が違います

越水や決壊・破堤による氾濫水は、家屋でさえ破壊するほどのエネルギーで一気に押し寄せてくるため、一般に流速が速くなります。とりわけ河川に近い場所では注意が必要です。

一般に外水氾濫に比べて流速は速くありませんが、マンホールや側溝に落ちて流されたり、地下道や地下施設で浸水する危険があります。

洪水（外水氾濫）と内水氾濫の違い

上記のように、洪水(外水氾濫)と内水氾濫は、発生のしかたや浸水エリアなどに違いがありますが、どちらの氾濫も大雨によって発生します。そのため、どちらかが発生したらもう片方は発生しないということではなく、どちらかが発生したらもう片方も発生直前であるといえます。

大雨・台風 高潮

近年では1953年(台風13号)、1959年(伊勢湾台風)に高潮の被害を受けています。当時から防
潮堤の整備がすすんだものの絶対に安全とはいえないので、高潮への警戒が必要です。



1953年 台風13号



台風13号による建物倒壊の様子

本市の人的被害

死 者: 0人
行方不明: 0人
重 傷 者: 3人
軽 症 者: 28人

本市の住宅被害

全 壊: 70戸
流 失: 30戸
半 壊: 150戸
床上浸水: 1,741戸
床下浸水: 1,592戸

1959年 伊勢湾台風



伊勢湾台風による浸水の様子

本市の人的被害

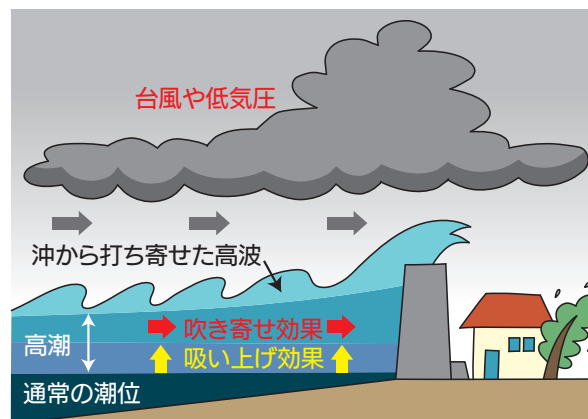
死 者: 11人
行方不明: 1人
重 傷 者: 11人
軽 症 者: 537人

本市の住宅被害

全 壊: 473戸
流 失: 56戸
半 壊: 1,065戸
床上浸水: 1,213戸
床下浸水: 805戸

高潮の仕組み

台風や発達した低気圧が通過するとき、潮位が大きく上昇することがあり、これを「高潮」といいます。台風や低気圧の中心では気圧が周辺より低いため、気圧の高い周辺の空気は海水を押し下げ、中心付近の空気が海水を吸い上げるように作用する「吸い上げ効果」と、台風や低気圧に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹き、海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が上昇する「吹き寄せ効果」により起こります。高潮により上昇した海面に、台風などにより発生した高波が打ち寄せるため大きな被害が発生します。



気象庁作成の図に加筆修正

大雨・台風 土砂災害

土砂災害には、土石流、地すべり、急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)の3種類があります。碧南市では、急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)が想定されており、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域が指定されています。

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)が起こった場合、崩壊した土砂は、斜面の高さの3倍程度まで広がる可能性があります。



土砂災害(特別)警戒区域の最新の指定状況は、「マップあいち」の土砂災害情報マップで確認できます。

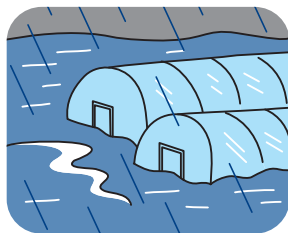
🔍 マップあいち 土砂災害

大雨・台風 高潮で起こる被害



農地の冠水

高潮により、農地が冠水する恐れがあります。海水は塩分を含んでいるため、農地は塩害を受けます。



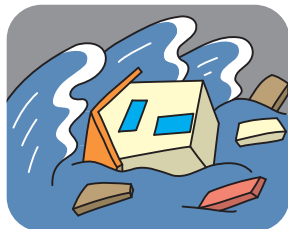
がけ崩れ

土砂災害警戒区域等に指定されている急な斜面では、大雨により急激に斜面が崩れ落ちる恐れがあります。



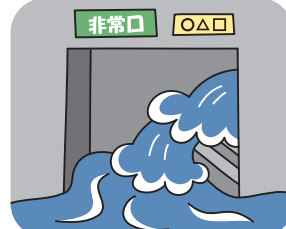
家屋の浸水、倒壊・流失

高潮により家屋が浸水する恐れがあります。また、高潮の水の流れにより家屋が倒壊・流失する恐れがあります。



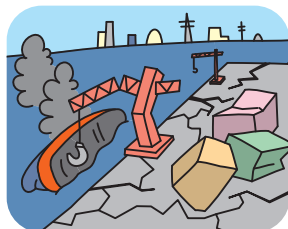
地下空間への浸水、冠水

地下空間に水が流れこむことによって地下室に閉じ込められたり、地上への避難経路が閉ざされる恐れがあります。市外に出かけるときは、地下街での冠水にも注意が必要です。



港湾の被害

高潮により護岸が壊れたり、船舶が流失したりする恐れがあります。また、家屋や、自動車などの車両、船舶が港湾内に流出することにより、長期間、航行規制となる可能性があります。

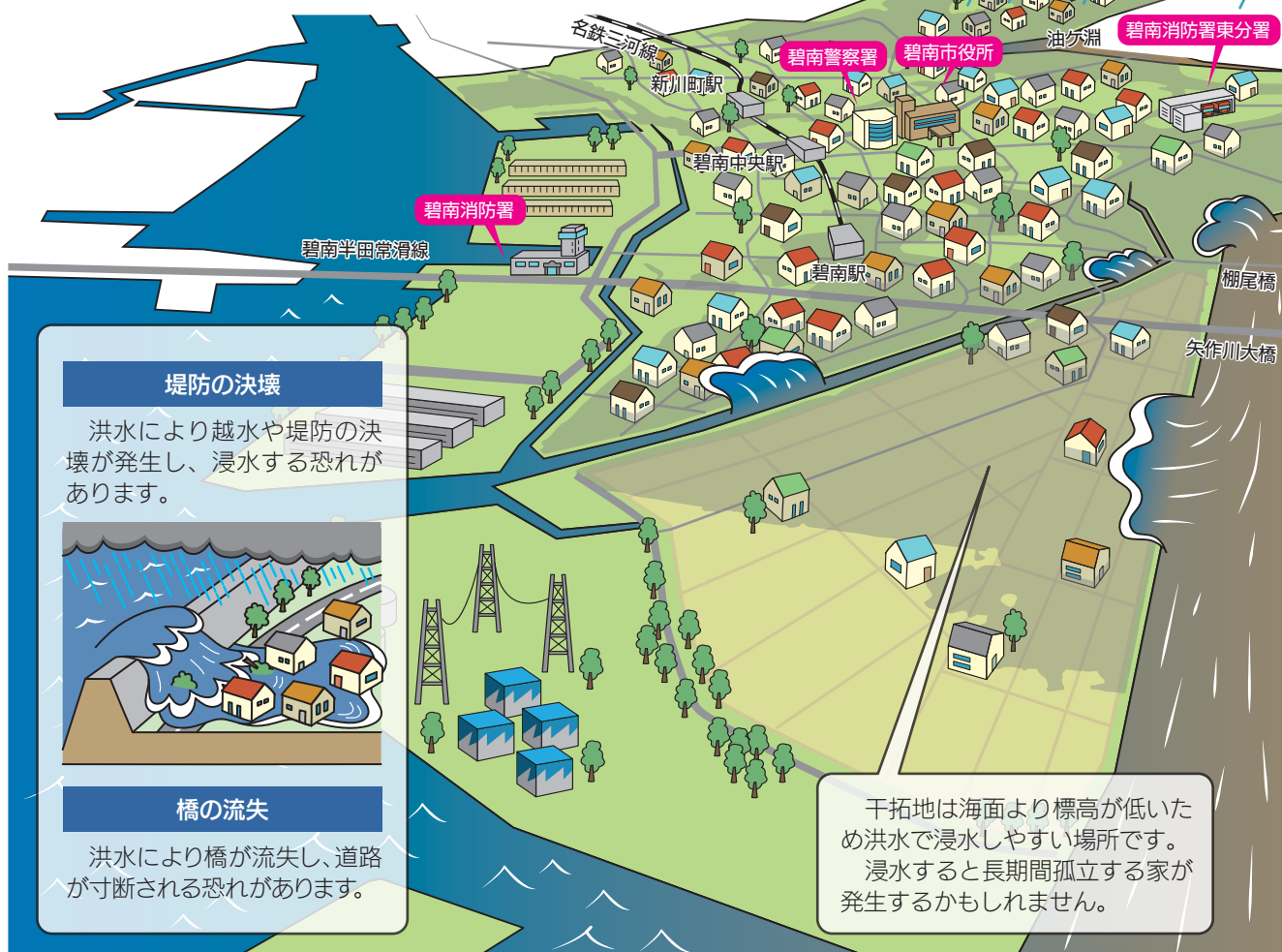


アンダーパスの冠水

アンダーパスは地形的に水が集中しやすいため、高潮が流入すると急激に冠水し、車両が立ち往生する恐れがあります。

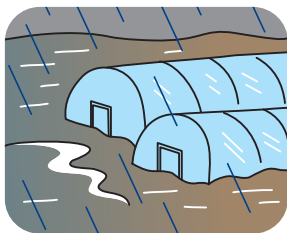


大雨・台風 洪水で起こる被害



農地の冠水

堤防決壊に伴う氾濫流により、農地が冠水する恐れがあります。農地は低地に分布するため、長期間冠水が続き、農作物の被害も大きくなる恐れがあります。



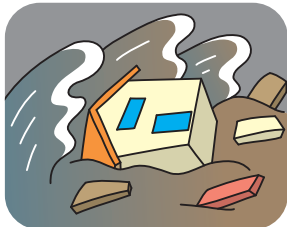
がけ崩れ

土砂災害警戒区域等に指定されている急な斜面では、大雨により急激に斜面が崩れ落ちる恐れがあります。



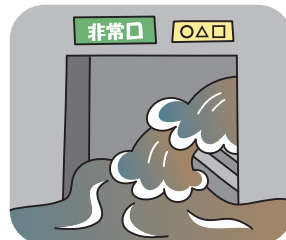
家屋の浸水、倒壊・流失

氾濫により家屋が浸水する恐れがあります。また、堤防決壊に伴う氾濫流により家屋が倒壊・流失する恐れがあります。



地下空間への浸水、冠水

地下空間に水が流れこむことによって地下室に閉じ込められたり、地上への避難経路が閉ざされる恐れがあります。市外に出かけるときは、地下街での冠水にも注意が必要です。



路肩の崩壊

洪水により路肩が崩壊する恐れがあります。また、路肩の崩壊に気が付かず転落してしまう恐れがあります。



アンダーパスの冠水

アンダーパスは地形的に水が集中しやすいため、短時間でも大雨が発生すると急激に冠水し、車両が立ち往生する恐れがあります。



地震 碧南市で想定される地震

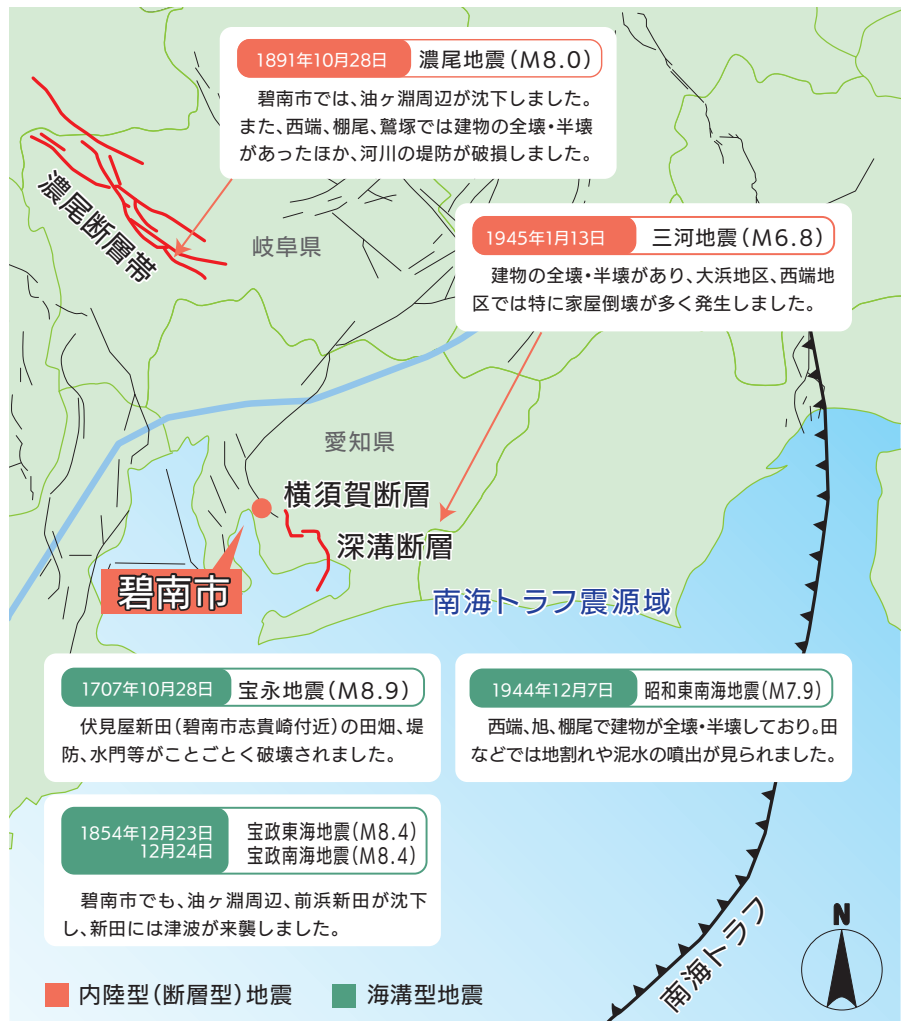
碧南市では、過去に東南海地震や三河地震などの地震に見舞われ、深刻な被害を受けました。次の巨大地震はいつ再び発生するかわかりません。過去に発生した地震の被害を知り、将来の地震に備えましょう。

過去の地震の歴史を知ろう

1945年三河地震では、人や建物が深刻な被害を受けました。発生時刻が3時38分だったことにより、就寝中に、家屋の倒壊で多くの方が下敷きになりました。また37日前に発生した東南海地震で家屋が傷んでいたことも被害を大きくした要因となりました。

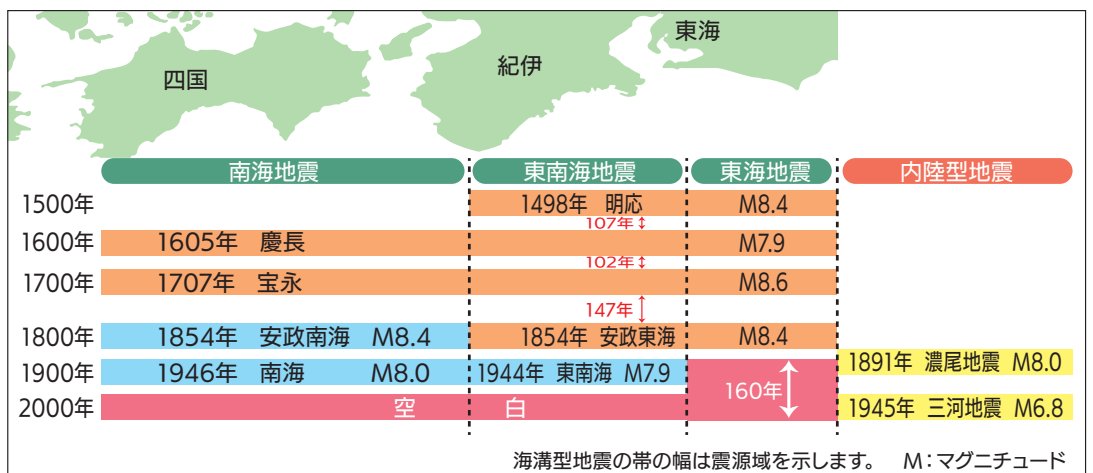


▲三河地震後の応仁寺如光堂の被害状況
故原田三郎さん(写真左上) 撮影



地震の活動周期

南海トラフ地震は約100～150年周期で発生しています。南海トラフ地震の発生時期周辺で、内陸型の地震が発生する可能性もあります。



地震 地震に関して発表される情報

●南海トラフ地震に関連する情報と備え

「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで異常な現象を観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報です。

情報が発表された場合にどのように行動するかを考えておきましょう。➡P 23 へ

南海トラフ地震臨時情報	地震発生	約5～30分	2時間程度～1週間	1週間～2週間	2週間～
巨大地震警戒	安全確保行動 「低く、頭を守り、動かない」	調査中 個々の状況に応じて避難等の防災対応を準備・開始し、今後の情報に注意	・日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備 ・事前避難（☆）	・地震が発生したらすぐに避難するための準備	・地震の発生に注意しながら通常の生活
巨大地震注意			・日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備	・地震の発生に注意しながら通常の生活	
調査終了			・地震の発生に注意しながら通常の生活		

(☆)「巨大地震警戒」の場合、高齢者等は事前避難が必要な地域があります

▶高齢者等事前避難対象地域：前浜町2丁目、4丁目、5丁目、中江町6丁目

- ・南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合、警戒期間中の1週間、碧南市では高齢者等事前避難対象地域に対して高齢者等避難を発令します。これは、高齢者等の避難に時間のかかる方を津波から守ることを目的としています。
- ・碧南市文化会館を事前避難用の避難所として開設します。対象地域以外にお住まいの方も避難可能です。
- ・避難所などにある災害対応用の物資は、後発地震が発生した時に使用する必要があるため事前避難時には配布しません。事前避難生活に必要な飲料水、食料、寝具などは、避難者自身で準備が必要です。➡P 10 11 へ

●緊急地震速報

気象庁は、「最大震度が5弱以上」または「最大長周期地震動階級が3以上」と予想された場合に、「震度4以上」または「長周期地震動階級3以上」が予想される地域を対象に緊急地震速報(警報)を発表します。

緊急地震速報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。➡P 22 へ

●大津波警報・津波警報

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。

- ・震源が陸地に近いと津波警報等の発表が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- ・津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってきます。大津波警報・津波警報が解除されるまでは、避難を続けましょう。

地震 地震で起こる被害

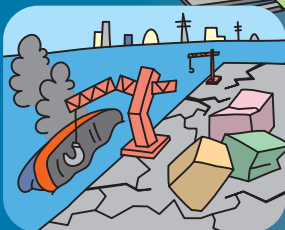
地震で起こる火災

地震時にあちこちで同時に火災が発生すると、消火が追いつかないため、火災が拡大する恐れがあります。

港湾の被害

津波波力により護岸が壊れたり、船舶が流失したりする恐れがあります。

また、家屋や自動車などの車両、船舶が港湾内に流出することにより、長時間、航行規制となる可能性があります。



堤防の被害

堤防が沈下して、浸水する恐れがあります。また、津波が川をさかのぼってくるので、注意が必要です。

津波の威力

上陸した津波は、時速40kmと、バイクなみの速さで進みます。このため、津波を見てからでは、足の速い人でも逃げることはできませんので、大津波警報、津波警報が発表されたら、すぐに避難が必要です。

津波は、30cmの高さであっても、水が一気に押し寄せるため、大人でも押し流されて、溺れたり、建物などに衝突したりして、死亡する可能性があります。また、木造家屋では、浸水深1m程度で半壊、2m程度で全壊となります。

鉄道の被害

地震の揺れによって路線が変形し、運行の再開までに時間がかかります。

走行中の列車が脱線する恐れもあります。



自販機の転倒やブロック塀の倒壊

地震の揺れによって、自動販売機が転倒したり、ブロック塀などが倒壊し死者やケガ人が出る恐れがあります。



液状化による被害

埋地や低地などでは液状化現象により、建物や電柱が傾いたり、道路が凸凹になったりする恐れがあります。



橋の被害

橋は崩落する可能性があります。落橋対策がされている橋でも段差が発生して、車両通行ができなくなります。



津波による被害

津波により、家屋が流失したり、田畑が冠水する恐れがあります。また、燃料タンクの破損による油流出、自動車などの車両、家庭用LPGボンベなどが火種となり津波火災が発生する恐れがあります。



揺れによる建物の倒壊

耐震性の低い建物は倒壊します。また、家屋の倒壊や家具の転倒により、多くの死者やケガ人が出ます。



大雨・台風 地震 非常持出品と備蓄品

避難する時に持ち出す必要最小限の「非常持出品」と、自宅で生活するための「備蓄品」を分けて備えることで、実際に災害が発生した際に慌てることなくスムーズに避難できます。

非常持出品

概ね小学4年生～大人

就寝時枕元に準備する物

- ☐ スリッパ
- ☐ 眼鏡
- ☐ ホイッスル
- ☐ 携帯電話
- ☐ 手袋
- 〈 ☐ 防災頭巾又はヘルメット 〉

① 本人が必ず持ち出す物

※ 登山用リュックに収納

- ☐ 水 (3 日分として 9L)
- ☐ 食料 (3 日分)
- ☐ マイナンバーカード
- ☐ 健康保険証、運転免許証、預金通帳 (表紙コピー)
- ☐ 現金
- ☐ 携帯充電器
- ☐ 懐中電灯
- 〈 ☐ 処方薬服用者：処方薬 (最低2週間分) 〉
- 〈 ☐ 眼鏡使用者：予備眼鏡 〉
- 〈 ☐ 補聴器、入れ歯 〉

② 体力により選択して持ち出す物

※ 登山用リュックに収納

- ☐ 非常用保温具 (アルミブランケット)
- ☐ 給水バッグ
- ☐ レジャーシート
- ☐ 下着 (3 日分)
- ☐ 筆記用具 (ボールペン、メモ帳、油性マーカーペン)
- ☐ 救急薬品、常備薬
- ☐ 携帯トイレ (3 日分)
- ☐ ウエットティッシュ
- ☐ ラジオ
- ☐ 万能ナイフ (スプーン、フォーク付き)
- 〈 ☐ トイレtpペーパー (2 ロール) 〉
- 〈 ☐ 生理用品 (1 か月分)、目隠しポンチョ 〉
- 〈 ☐ ビニール袋、消臭袋 〉

必要な物を事前に確認し ☒ しておきましょう。

〈 〉 は必要に応じて準備しましょう。

③ ②でも余裕がある又は車両移動ができれば持ち出す物

※ 段ボール又は衣装ケース等に収納

- ☐ 水 (家族 1 週間分) (1人 3L / 日)
- ☐ 食料 (家族 1 週間分)
- ☐ 寝袋 (家族分)
- ☐ クッションマット又はヨガマット (家族分)
- ☐ トイレtpペーパー (24 ロール)
- ☐ 全身用ウエットティッシュ (家族 1 か月分)
- ☐ 下着を含む着替え (1 週間分)
- ☐ 洗剤 (家族 10 回分)
- ☐ 水タンク (20L)
- ☐ テント (家族分)
- ☐ キッチン用ラップ (2 ロール)
- ☐ 食器 (紙製又はキャンプ道具、家族分)
- ☐ ガスコンロ又はキャンプ用コンロ (燃料は 1 週間分)
- ☐ 調理器具 (キャンプ用)
- ☐ 使い捨てカイロ
- 〈 ☐ ガソリン携行缶 〉

備蓄品

在宅避難に必要な物

- ☐ 水 (家族 2 週間分) (1人 3L / 日)
- ☐ 保存食料 (備蓄食、缶詰、乾麺など家族 1 か月分)
- ☐ 携帯トイレ (家族 1 か月分) (1人 2 袋 / 日)
- ☐ トイレtpペーパー (家族 2 か月分)
- ☐ 全身用ウエットティッシュ (家族 1 か月分)
- ☐ 水タンク (20L、家族分)
- ☐ 割り箸 (家族 1 か月分) (1人 3 本 / 日)
- ☐ キッチン用ラップ (5 ロール)
- 〈 ☐ 処方された薬 (1 か月分) 〉

①と②で持って行きたい物を登山用リュックに詰め30分程度歩いてみて、大変であれば物を減らしましょう。

大雨・台風 地震 非常持出品と備蓄品

幼児～概ね小学3年生の子供、乳児、疾患のある方や、ペットを飼っている場合は、必要なものや、持ち運べる量が大人とは異なります。

非常持出品

幼児～概ね小学3年生

就寝時枕元に準備する物

- ☐ 靴下
- ☐ 眼鏡
- ☐ ホイッスル
- ☐ ライト
- ☐ 手袋
- 〈 ☐ 防災ずきん、またはヘルメット 〉

① 本人が持ち出す物

※ 登山用リュックに収納

- ☐ 水 (500mL×2)
- ☐ 食料 (3 日分)
- ☐ 非常用保温具 (アルミブランケット)
- 〈 ☐ 処方薬服用者：処方薬 (最低2週間分) 〉
- 〈 ☐ 眼鏡使用者：予備眼鏡 〉

② 体力により選択して持ち出す物

※ 登山用リュックに収納

- ☐ 下着 (3 日分)
- ☐ ウエットティッシュ
- ☐ スプーン、フォーク
- ☐ 携帯トイレ (3 日分)
- ☐ トイレtpペーパー (1 ロール)

③ 車両移動ができれば持ち出す物

- ☐ おやつ
- ☐ おもちゃ又は本

非常持出品の重さの目安

男性：15 kg
女性：10 kg



必要な物を事前に確認し ☒ しておきましょう。

〈 〉は必要に応じて準備しましょう。

乳児 (満1歳未満)

① 親が必ず持ち出す物

- ☐ 水 (3 日分として 9L)
- ☐ ミルク (3 日分)
- ☐ 離乳食 (3 日分)
- ☐ 哺乳瓶 (数本)
- ☐ 食器 (スプーン、フォーク、皿等)
- ☐ ウエットティッシュ (1 週間分)
- ☐ 使い捨ておむつ (3 日分)
- ☐ 抱っこ紐
- ☐ 処方薬服用者：処方薬 (最低 2 週間分)
- ☐ 母子手帳

② 親の体力により選択して持ち出す物

- ☐ 非常用保温具 (アルミブランケット)
- ☐ 着替え (3 日分)
- ☐ ミルク (1 週間分)
- ☐ 離乳食 (1 週間分)
- ☐ 使い捨ておむつ (1 週間分)

③ 車両移動ができれば持ち出す物

- ☐ ミルク (1 か月分)
- ☐ 離乳食 (1 か月分)
- ☐ 使い捨ておむつ (1 か月分)

疾患のある方

- ☐ 主治医連絡先
- ☐ 持病メモ等
- ☐ お薬手帳

ペット

- ☐ リード
- ☐ 排泄用品
- ☐ ケージ、キャリー
- ☐ ペットフード

ご自身と子どもに必要な物を登山用リュックに詰め30分程度歩いてみて、大変であれば物を減らしましょう。

マンション

普段から、災害に対して備えをしておきましょう。

戸建て

屋根 大雨・台風

瓦のひび割れやずれ、はがれを修理しておきましょう。

外壁 地震

壁に亀裂が有る場合は補修しておきましょう。

窓ガラス 大雨・台風

ひび割れや、窓枠のガタツキがないようにしましょう。

雨戸がない窓は、板などでふさいで強風による飛来物に備えましょう。

ベランダ 大雨・台風

植木鉢や物干し竿など飛びやすいものは室内に入れましょう。

側溝・排水溝の掃除 大雨・台風

ゴミ、落ち葉が詰まると水があふれます。

水のう 大雨・台風

ポリ袋に水を詰めて作る水のうすいを用いて、
家屋への浸水を軽減できます。

Q 水のう 碧南市

地震
ブロック塀

鉄筋の入っていないブロック塀は、撤去するか、補強しましょう。

雨戸・網戸 大雨・台風

養生テープ等でしっかり固定して、
風で飛ばされるのを防ぎましょう。

車のガソリンを満タンに

大雨・台風 地震

停電時でも、車の中で暖を取ったり、スマートフォンなどの充電もできます。

東日本大震災では、災害後の長期間、ガソリンが不足しました。普段から満タン給油をしておくことが備えになります。

●ブロック塀撤去補助

地震などの災害時に、ブロック塀の倒壊による被害を未然に防ぐため、ブロック塀の撤去にかかる費用の一部を補助しています。詳細については、下記問い合わせ先へお問合せください。

問い合わせ先 建築課 ☎0566-95-9907

●住宅瓦屋根耐風診断補助

強い台風などによる瓦屋根への被害を未然に防ぐため、住宅の瓦屋根診断・改修にかかる費用の一部を補助しています。詳細については下記問い合わせ先へお問い合わせください。

問い合わせ先 建築課 ☎0566-95-9907

大雨・台風 地震 自宅内の備え

地震

安全な空間を確保

家具類の配置を工夫するとともに、L字金具等で壁に固定するなどにより転倒・移動防止を図りましょう。重いものを下の段に収納しましょう。

水のう 大雨・台風

トイレの便器や排水口に水のうを置くと、下水道からの逆流を軽減できます。

食器棚 地震

食器のすべり止めを設置しましょう。戸棚の扉にはロック機能のついたものを用意しましょう。

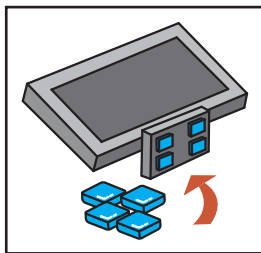
感震ブレーカーを設置しましょう。

地震



地震

冷蔵庫、テレビなどは転倒防止器具で固定



テレビはベルト、粘着マットなどで固定しましょう。

家電製品、ピアノの固定には工夫が必要 地震

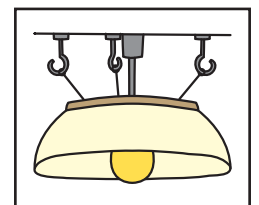
メーカーで専用の固定具を用意している場合もあるので、相談しましょう。

地震

ガラスには飛散防止フィルムをはりましょう。

地震

吊り下げ式照明はチェーンなどで止めましょう。



地震

懐中電灯などは手の届く所に置きましょう。

●住宅の耐震化に対する補助

昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅と非木造住宅に対して耐震診断等の補助を行っています。申請の詳細については市ホームページをご覧ください。下記問い合わせ先へお問い合わせください。

問い合わせ先 建築課 ☎0566-95-9907

●家具転倒防止事業

高齢者や障害者を対象に、地震などによる家具の転倒を防止する固定金具の取り付けを、対象となる家具5点まで無料で取り付けます。借家やアパートに住む人は家主の了解が必要です。詳細については、下記問い合わせ先へお問合せください。

問い合わせ先 高齢介護課 ☎0566-95-9888

大雨・台風 マイ・タイムラインの作り方

自然災害に対しては、事前に情報を集め「この場合にはこうする」と、判断しておくことが、命を守ることに繋がります。自然災害の危険性や避難場所などを示した「ハザードマップ」を確認して、事前にどのような行動をするかマイ・タイムラインを使って考えましょう。マイ・タイムラインは台風・大雨や地震などのときに「いつ」「誰が」「どのように」行動するかを時間の流れに沿って考えておくものです。

いざ、というときに役立つマイ・タイムラインを作ってみましょう。

2 災害に備える

作り方 1 誰と逃げる？

誰と避難するかで、避難に必要な行動が変わります。

何人家族か、家族以外の誰かと一緒に避難するかどうかをシートに記入してください。

また、家族の携帯電話番号や職場・学校の電話番号などの連絡先を記入してください。

「災害用伝言ダイヤル171」または「災害用伝言版web171」に登録する電話番号を決めて記入してください。➡P30へ

〈記入例〉

基本情報

家族以外と一緒に避難する人 名前 **碧南 太郎** : (電話番号) **000-0000-0000**
 家族のお迎え **碧南 太郎** が **〇〇中学校** へを迎えに行く
 家族のお迎え **碧南 花子** が **□□幼稚園** へを迎えに行く
 家族が離れ離れのときの集合場所 **△△小学校** に集合する
 災害用伝言ダイヤル171等に登録する電話番号: **000-0000-000**

作り方 2 自宅の危険をチェック

台風や大雨になったとき、地震が起きたとき、自宅にはどんな危険がありますか？ハザードマップを見て、具体的な災害リスクを記入してください。

ハザードマップを見て記入しましょう

高潮
〈記入例〉

高潮 ☒ 浸水深 **3~5 m**、浸水継続時間 **12~24 時間**

洪水
〈記入例〉

矢作川の洪水 ☒ 浸水深 **1~3 m**、浸水継続時間 **12~24 時間**

☐ 家屋倒壊等氾濫想定区域

高浜川、蜷川の洪水 ☒ 浸水深 **1~3 m**、浸水継続時間 **12~24 時間**

☐ 家屋倒壊等氾濫想定区域

土砂災害
〈記入例〉

土砂災害 ☐ 土砂災害 (特別) 警戒区域

地震
〈記入例〉

☒ 地震震度 **6 強**

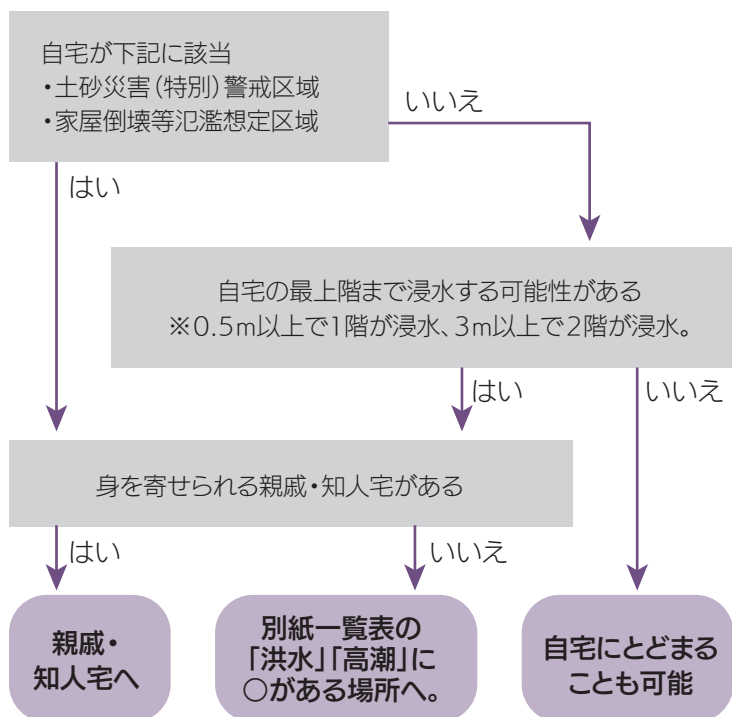
☒ 津波浸水深 **1~3 m**、到達時間 **30分~1 時間**

☒ 火災の危険が高い (焼失率が高い)

大雨・台風 マイ・タイムラインの作り方

作り方 3 どこに逃げる？

洪水と高潮に分けて避難する場所を記入しましょう。



POINT!

■浸水継続時間が長い区域について

自宅の浸水が長期化した場合にはさまざまな問題が発生します。浸水継続時間が長い場合は、浸水継続時間+1日程度の水・食料・携帯トイレを持って垂直避難する必要があります。

①浸水が長期化した場合の問題

- ・浸水深が深い場合には、家から外へ出られない
- ・備蓄していても水や食料等がなくなる
- ・衛生環境が悪化する
- ・病人が出た場合に対応が難しい
- ・定期的な診療を受けている人は診療を受けられない 等

②電気、ガス、水道が止まることによる一般の問題

- ・停電等により情報を得ることができなくなる
- ・生活環境が悪化する

③高層階での課題

- ・エレベータが止まり、階段での移動を余儀なくされることから、高層階特有の問題が発生する
- ・低層階からの水・食料等の救援物資が調達しにくくなる
- ・病人が出たとき、階段での移動は困難を極める 等

④孤立した場合の問題

- ・体調を崩した場合の対応が難しい
- ・情報を得られない場合、不安になる

■親戚・知人宅などへの避難の場合は、各市町村のウェブサイトなどでハザードマップを確認しましょう。

自宅にとどまることができない場合

洪水
〈記入例〉

矢作川の氾濫
高浜川、蜷川の氾濫

避難先 ○○さん宅
□□公民館

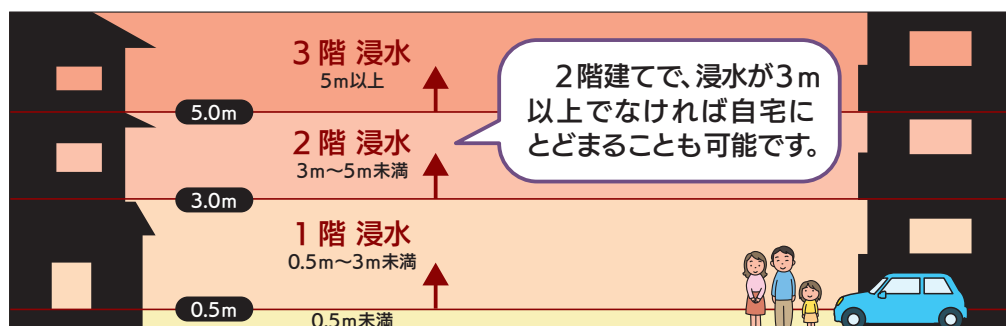
高潮
〈記入例〉

高潮

避難先 △△小学校

別紙の避難施設一覧表を見て記入しましょう。
避難先までの経路に危険がないかも確認しておきましょう。

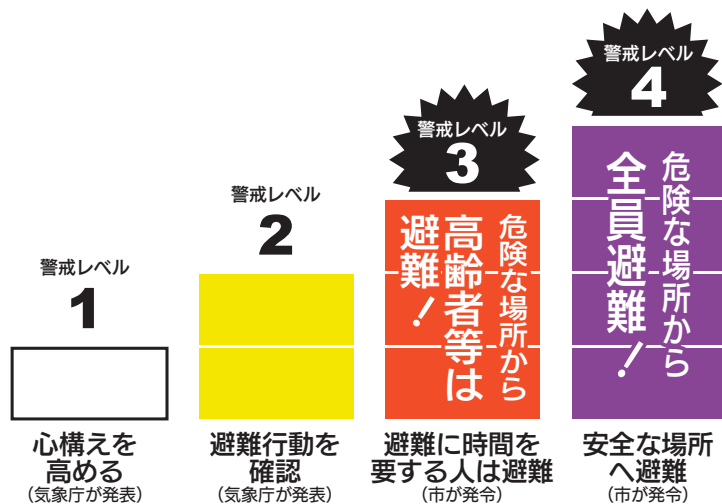
浸水の目安



大雨・台風 マイ・タイムラインの作り方

作り方 4 いつ逃げる？

避難に際して手伝いや補助が必要な方、体力や健康に不安がある方と避難する場合は、早めの避難が必要です。いつ、どのタイミングで避難するかを考えて「避難開始」にチェックを入れてください。



〈記入例〉

避難を開始するタイミングを、「**高齢者等避難**」または「**避難指示**」から選んでチェックを入れましょう。

POINT!

平屋建ての場合に浸水深0.5m以上、2階建ての場合に3m以上、3階建ての場合に5m以上の浸水となる区域や、家屋倒壊等氾濫想定区域からは、早期立退き避難が必要です。

家屋倒壊等氾濫想定区域は、堤防決壊による氾濫流、または、河岸侵食により家屋が倒壊する可能性がある地域です。家が破壊されたり、流されたりするため早めに避難してください。

保育園に通っている子がいて時間がかかるから、うちは「高齢者等避難」で避難開始ね。



大雨・台風 マイ・タイムラインの作り方

●さまざまな情報を参考に早めの避難行動を

市は、気象庁や国、県が発表する情報や、市内の巡回状況などから避難情報を発令します。市の避難情報だけではなく、周囲の状況を見ながら、早めの避難行動をお願いします。



POINT!

市が「**高齢者等避難**」または「**避難指示**」を発表した場合に市が公表した避難所を開設します。

2 災害に備える

警戒レベル	避難情報	住民がとるべき行動	気象庁などの情報				警戒レベル	相当する
1		災害への心構えを高める	早期注意情報 (警報級の可能性)					
2		自らの避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	大雨警報に切り替える可能性が高い注意報	高潮注意報	注意	氾濫注意情報	2相当
3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難	大雨警報 洪水警報	高潮警報に切り替える可能性が高い注意報		警戒	氾濫警戒情報	3相当
4	避難指示	危険な場所から全員避難	土砂災害警戒情報	高潮警報 高潮特別警報		危険	氾濫危険情報	4相当
〈 警戒レベル4までに必ず避難 〉								
5	※緊急安全確保	命の危険直ちに安全確保!	大雨特別警報			災害切迫	氾濫発生情報	5相当

※緊急安全確保は、すでに災害が発生、または切迫している状況であり、避難先へ行くことは命が危険な状態です。緊急安全確保が発令された際は、建物の上層階への移動、がけから離れた部屋への移動など、その場でとることができる行動が必要です。

作り方 5 いつ何を確認する？

身の危険がせまったときに、あわてることなく避難するため、どんな情報をみて避難を開始するか、事前に整理しておきましょう。

〈記入例〉

避難の準備は自宅周辺や気象の状況により、人それぞれ違います。該当する項目にチェックを入れ、「いつ」「何を」かを決めておきましょう。

警戒レベル	避難情報	避難の参考にする情報	わが家の避難行動 いつ、何をするかを考え、書き込んでおきましょう
1 今後気象状況 悪化の恐れ		大雨 河川 高潮 土砂災害	☐ 防災グッズや避難の服装を再確認する ☐ テレビやインターネットで天気予報を確認する ☒ ハザードマップで、避難所や避難ルートを再確認する ☐ 家族の今後の予定を確認する ☐ 鉢植や物干しなどおぼろげなものを家の中に入れる
2 気象状況悪化		大雨、洪水注意報 氾濫注意情報 高潮注意報	☐ 動きやすい服に着替える ☒ テレビやインターネットで雨雲レーダーや川の水位を確認 ☐ 携帯電話を充電する ☒ 持ち出し品の確認 ☐
3 災害の おそれあり	高齢者等避難	大雨、洪水警報 氾濫警戒情報 大雨警報	☒ 早めに避難開始！ ☐ キキクルを確認 ☐ 家族や親戚に避難先を連絡する ☒ 離れて住んでいる両親に連絡 ☐
4 災害の おそれ高い	避難指示	大雨特別警報 氾濫危険情報 高潮特別警報 土砂災害警戒情報	☐ 避難開始！ ☒ 安全な場所へ移動 ☐ ☐
5 災害発生 または切迫	緊急安全確保	大雨特別警報 氾濫発生情報	☒ 身の安全を確保する  避難できていない場合には、緊急的に安全を確保できる場所やより高い所へ移動しましょう！

自宅にとどまることができない場合

矢作川の氾濫	避難先	〇〇さん宅
高浜川、蜷川の氾濫	避難先	□□公民館
高潮	避難先	△△小学校

大雨・台風 地震 災害情報の確認方法

災害に関する情報は、複数の方法で確認できるようにしておくことで安心です。

携帯電話、スマートフォン

いずれも無料で登録できます。通信料は必要です。

●緊急速報メール 携帯電話、スマートフォン

対応機種の携帯電話やスマートフォンへ、市からの災害情報を緊急速報メールで市内にいる方へ一斉配信します。情報配信時に通勤や通学などで市内を訪れている人へも配信されます。配信できる情報は特定の緊急性の高い情報に限定しており、気象警報などは配信しません。また、機種により緊急速報メールを受信できない場合や、受信設定が必要となる場合があります。

●碧南市 LINE 公式アカウント スマートフォン

🔍 碧南市 LINE

「碧南市LINE公式アカウント」にて、防災情報を入手できます。
防災情報の受信には、「友だち登録」ののちに、受信設定が必要です。

【受信設定方法】

メインメニューの「受信設定」をタップしてください。

友だち登録



●へきなん防災メール 携帯電話、スマートフォン

🔍 碧南市 防災メール

携帯電話、スマートフォンなどで、「へきなん防災メール」を受信できます。

【登録方法】

- ①登録用メールアドレスにメールを送信してください。
- ②登録用URLが記載されたメールが届くので、アクセスして登録を行ってください。

●停電情報お知らせサービス スマートフォン

🔍 中部電力パワーグリッド 停電情報

停電情報を、中部電力パワーグリッド（株）のアプリ、またはWebサイトで確認することができます。

●防災情報アプリ「Yahoo! 防災速報」 スマートフォン

🔍 Yahoo!防災速報

碧南市と災害協定を締結しているヤフー株式会社の協力により、防災情報アプリ「Yahoo!防災速報」にて、防災情報を入手できます。碧南市から緊急情報を受信するには、アプリの「設定」の「地域の設定」で「碧南市」を設定してください。

離れて住む高齢者等がいらっしゃる方へ「逃げなきゃコール」のご協力のお願い

「逃げなきゃコール」は、離れて住む高齢者等に対して、避難指示等の防災情報をスマートフォンアプリにて入手し、危険が迫った際に直接電話をかけて避難を呼びかける取り組みです。Yahoo!防災速報に、碧南市に加えて、親族等がお住まいの地域を登録しておきましょう。

いざという時に「逃げなきゃ」と電話をかけることが、避難の決心になります。

大雨・台風 地震 災害情報の確認方法

災害に関する情報は、複数の方法で確認できるようにしておくことで安心です。

固定電話

●災害用電話サービス

🔍 碧南市 災害用電話サービス

携帯電話やスマートフォンを持っておらず、へきなん防災メールが受信できない人などを対象に、避難所開設などの情報を家庭の固定電話へ電話でお伝えします。

【申請方法】

防災課窓口へ申請書をご提出ください。代理申請が可能です。

テレビ、ラジオ、同報無線

●テレビ

テレビでは、避難情報などが字幕などで表示されます。各チャンネルのdボタン(データ放送)画面で、詳しい情報を確認できます。

●ラジオ ^{ピッチ}Pitch FM (83.8MHz)

🔍 Pitch FM

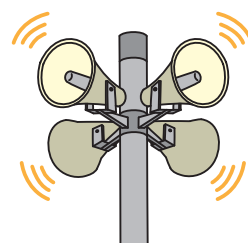
災害時に持ち運びができ、停電中でも使用できるラジオは、情報を得るための最も有効な手段となります。Pitch FMは、碧海地域を中心に地元の情報をラジオ放送しており、災害時には、各市の災害対策本部と連携して災害情報が放送されます。

ラジオを受信しにくい場合でも、インターネット接続があるパソコンやタブレット端末、スマートフォンで放送が聞けます。

●同報無線

同報無線は、重大な災害が発生するおそれがあるときに、市民の皆さんに災害及び、避難指示などの情報を伝達することを目的とした設備です。

市内20か所に設置されており、毎日夕方にテスト放送として音楽を放送しています。緊急時には音量を最大にして放送します。



落ち着いて正確な情報を入手しましょう

災害が発生すると、SNSなどで、被災状況や被災者支援のためなど様々な情報が大量に飛び交うようになります。SNSなどは、災害時の情報入手や、安否確認の手段としても役立ちます。しかし、SNSなどで誤った情報が拡散されることもたびたびあります。誤情報に惑わされないようにするために、信頼できる発信元からの情報かを必ず確認しましょう。

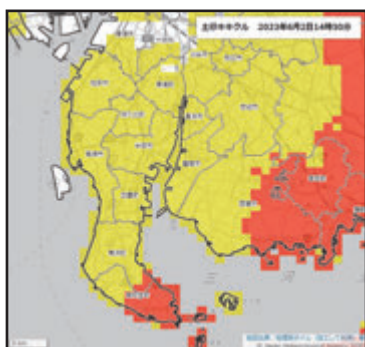
大雨・台風 大雨・台風の時に役立つ災害情報

パソコン、スマートフォンなどで、大雨・台風の時に役立つ情報を入手できます。

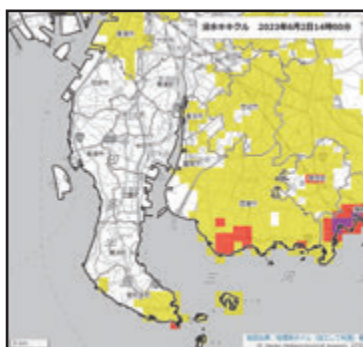
●キキクル < 警報の危険度分布 >

Q 気象庁 キキクル

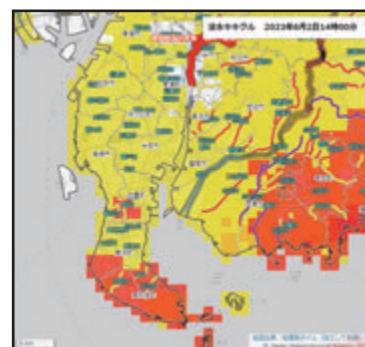
キキクル(警報の危険度分布)では、警報・注意報が発表されたときに、実際にどこで「指数」の予測値が警報・注意報の基準に到達すると予想されているのかが、地図上で一目でわかります。(「指数」: 警報・注意報を発表する根拠となる値)



土砂キキクル
(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)



浸水キキクル
(大雨警報(浸水害)の危険度分布)



洪水キキクル
(洪水警報の危険度分布)

大雨警報(土砂災害、浸水害)、洪水警報が発表されたときに、自宅や避難ルートの危険度を色で確認しましょう。

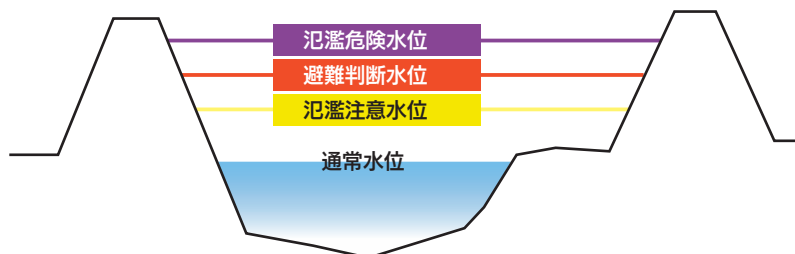
●川の防災情報 < 河川水位、河川カメラ画像 >

河川や海岸には、水位計や、河川カメラが設置されています。
川の防災情報にて、水位、河川カメラ画像を確認できます。

Q 国土交通省 川の防災情報 (矢作川)

Q 愛知県 川の防災情報 (高浜川、蜷川、潮位)

【河川水位のイメージ】



矢作川には、避難行動の参考となる水位が定められています。

確認する水位観測所は次のとおりです。

矢作川: 「米津」
高浜川: 「油ヶ淵」
蜷川: 「蜷川排水機場内水位」
潮位: 「一色」

河川カメラで川の様子を確認できます。

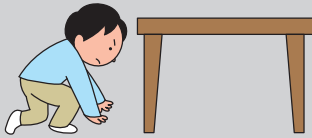
河川カメラの例



作り方 6 地震発生! どうする?

地震が発生したら、すぐに3つの行動(シェイクアウト)をしてください。

まず低く



転倒を防止し、その場から動かされないようにするため、姿勢を低く! 耐震性の低い家の方は、倒壊する可能性があるため直ちに屋外へ退避して下さい。その際、瓦の落下に注意してください。

頭を守り



丈夫な机の下など安全な場所に避難。隠れる場所がない場合は、手やかばんなどで頭を守る。

動かない



揺れが収まるまでその場にとどまり、動かない。

自宅が、火災の危険が高い(焼失率が高い)地域に該当

はい

いいえ

大津波警報・津波警報が発表

はい

いいえ

自宅が津波浸水想定区域

はい

いいえ

津波浸水想定区域外へ、
津波到達までに避難可能

自宅が余震に耐えられると判断

はい

はい

いいえ

津波浸水想定区域外の
一時退避場所へ

最寄りの
一時退避場所へ

自宅

身を寄せられる親戚・知人宅がある

はい

いいえ

親戚・
知人宅へ

避難所へ

地震
〈記入例〉

避難が必要な場合

- ☒ 津波到達区域外の一時退避場所
- ☒ 最寄りの一時退避場所
- ☒ 親戚・知人宅

〇〇小学校校舎

□□公民館

△△さん宅

一時退避場所は別紙の避難施設一覧表を見て記入しましょう。
避難先までの経路に危険がないかも確認しておきましょう。

地震 マイ・タイムラインの作り方

作り方 6 地震発生! どうする?

〈記入例〉

●南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表されたら?

次の巨大地震に備えて、とるべき行動を考えておきましょう。事前避難対象地域内の方は、1週間程度事前避難をする必要があります。避難先(碧南市文化会館)や必要なものを検討しましょう。対象地域外の方は、日ごろからの地震への備えを再確認しましょう。

高齢者等事前避難対象地域について → P 8 へ

発生した地震が、南海トラフ地震想定震源域の西側で M8 クラスの場合!

地震発生から5~30分後 南海トラフ地震臨時情報(調査中)発表

地震発生から最短2時間後 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)発表

M8クラスの地震の場合、
大津波警報が発表されています

大津波警報解除

1週間経過

地震発生から

事前避難対象地域内にお住まいの方

✓ 事前避難 避難先 **碧南市文化会館**

1週間の避難生活に何が必要になりそうですか?

着替え用の衣類、食料

帰宅

日ごろからの地震への備えを再確認!
家に帰ってからどのような地震への備えを行いますか?

水や食料の備蓄を確認する



POINT!

●大津波警報、津波警報が発表されたらすぐに避難!

このような被害が想定されます

大津波警報: 木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれます。

津波警報: 標高の低いところでは津波が到達し、人は津波による流れに巻き込まれます。

▶わずかな深さの津波であっても、人が巻き込まれた場合、流されて命の危険があります。

とるべき行動

沿岸部や川沿いにいる場合には、ただちに高い場所へ避難してください。遠い場所を目指すより、近くの高い場所を目指すことが重要です。

碧南市は標高が高い場所が少ない特徴があります。沿岸部の工場周辺は標高が高く津波の浸水は想定されていません。産業道路(国道247号)を目指して避難してください。ハザードマップには、避難方向の目安を青色の矢印で示しています。安全な場所への移動は産業道路を使用して、北上してください。

大雨・台風 避難先へ行く時は

浸水が始まる前に避難を完了することが重要です。

安全な避難路の確認をしましょう

避難先までの経路を、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

アンダーパス、川沿いの道路、水路・水田の近くは特に危険です。



浸水が生じている場合や避難が遅れた場合は

氾濫水の流れが緩やかであっても50cm以上の水深があると大人でも歩行が困難となることから、浸水が始まった後に移動することは大変危険です。浸水前に避難して下さい。

避難のための十分な時間を確保できない場合や、浸水が深い場合は、予定された避難場所等に立退き避難することにこだわらず、自らの判断により、自宅の2階や近隣の安全な建物へ移動するなど、災害から命を守るためのできる限りの行動が必要です。

歩ける深さは
大人は50cmまで
子供は膝の高さまで

50cm
の目安



車のタイヤが見えない



自動販売機の
取り出し口が
浸水している



車での避難の危険性

車での避難中に死亡した事例が多数あります。

- ・ 浸水しているアンダーパスで動けなくなる
- ・ 川沿いの道路で川に転落する
- ・ 渋滞が起こり円滑に避難できない

浸水深が30cm以上では車の走行が困難となり、50cm以上では車が浮いたり、ドアを開けられなくなったりします。

また、車での避難が周囲に危険を及ぼします。

- ・ 事故を起こす
- ・ 緊急車両の通行の妨げになる
- ・ 車の走行により起こる波が歩行避難者に当たる



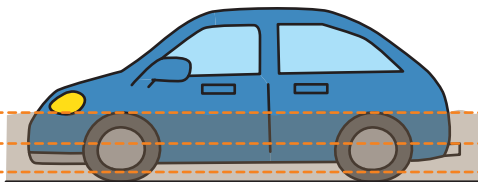
タイヤの高さ

50cm

マフラーの高さ

30cm

10cm



大雨・台風 やむなく浸水の中を歩く時は

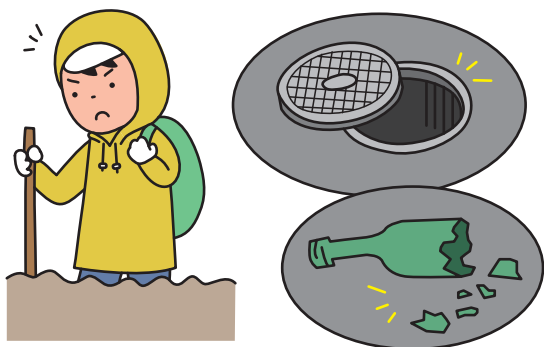
浸水の中を歩くことは命の危険があります。やむなく浸水の中を歩く時は十分な注意が必要です。

避難するときの服装

軍手（手袋）を着用する。

長い棒や傘などを杖にして、足元の安全を確認しながら歩く

水面下にはふたが外れたマンホールや側溝、水路などがあります。田畑への転落にも注意が必要です。



非常持出品はリュックサックに入れて背負う。

内容品が濡れないよう、袋をかける、または防水スプレーの使用が有効です。

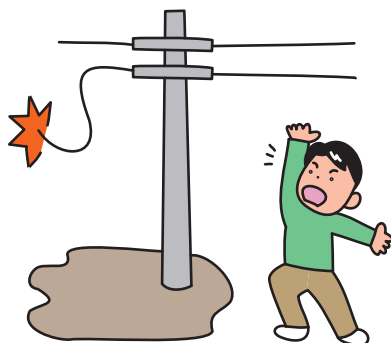
傘は使わず、雨合羽を着用する。

ひもでしっかり締められる運動靴をはきましょう。



危険な場所には近づかない

切れた電線など危険な場所には近寄らないようにしましょう。



裸足や長靴は危険です。

水の流れが速い場合

水深が浅い場所でも流れが速い場合は、非常に危険です。無理をせず救助を待ちましょう。

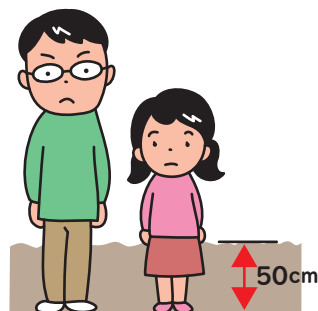


歩ける深さの目安は

大人は50cmまで、子供は膝の高さまでです。それ以上は救助を待ちましょう。

単独行動を避けて、できるだけ二人以上で行動しましょう。

人を背負うことや、一人で歩けない乳児・幼児を連れることは大変危険です。救助を待ちましょう。



地震 外出先で地震にあった時は

外出時に地震が発生した場合には、場所ごとにすべきことが変わっていきます。地震が起きた時に何をすべきか、日頃からイメージしておきましょう。

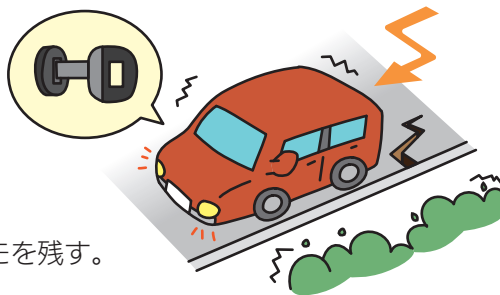
安全な避難路の確認をしましょう

- 看板やガラスなどの落下物に備え、頭をかばんなどで保護する。
- 揺れがおさまったら、落下物から身を守り、建物の倒壊にも注意しながら公園などの広く安全な場所へ避難する。
- ブロック塀などが崩れると押しつぶされることがあるので近づかない。



車の運転中

- ハザードランプを点灯して徐々に減速する。
- 道路の左側に停車し、エンジンを切る。
- 駐車場や空き地があれば、そこに停車する。
- 揺れがおさまるまで待ち、カーラジオで情報を入手する。
- 避難するときはキーをつけたまま、ドアロックはせず、連絡先メモを残す。



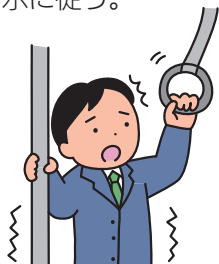
お店や公共施設、地下街などの屋内にいるとき

- 看板やガラスなどの落下物に備え、落下物などから身を守りつつ、転倒しないように姿勢を低くする。
- 館内放送や係員の指示に従う。
- 出口に殺到しない。
- 避難にエレベーターを使わない。エレベーター内では全ての行き先階のボタンを押し最初に停まった階で降りる。



電車、バスに乗っているとき

- 手すりや吊り手につかまる。
- 乗務員や駅員の指示に従う。



海岸付近

- 高台へ避難する。
- 警報や注意報が解除されるまで、絶対に海岸や低地に近づかない。
- 津波警報の情報を入手する。



山間地

- 落石や土砂崩れの危険があるので急いで斜面や崖から離れる。
- 余震や降雨などで土砂災害の危険が高まるので注意する。



地震 避難先へ行く時は

地震の際に避難先へ行く時は、けがをしないように注意しましょう。

家を離れる際は



- ・通電火災を防ぐために、電気のブレーカーを切る。
- ・空き巣などの被害を防ぐ為、家の戸締まりをする。

避難するときの服装

防災ずきん、
または
ヘルメット



長袖の上衣、長ズボン

けが防止のため夏場でも
長袖・長ズボンを着用する。

スニーカーなど底の平な靴

靴は底の厚い、履き慣れた靴
を履く。

リュックなど背負えるもの

手袋



徒歩で避難を！ 車での避難は困難です

碧南市は幅が狭い道路が多いため、車での避難は困難です。地震の際は、建物や電柱が道路に倒壊する、液状化により道路に凹凸が生じる、橋が落ちたり段差が生じるなどにより、平常時と比べて車両通行が困難になります。

渋滞が起きて時間がかかったり、障害物に阻まれて進めなくなり、後ろに車がが続いているためUターンもできなくなる恐れがあります。過去の地震でも、車より徒歩の方が早く避難ができました。

徒歩での避難の場合は幅が4m以上の道路を選びましょう。歩行ができないなどの場合を除き、車を使用しないでください。車の使用により、救助や消火活動の妨げとなり、被害が拡大してしまいます。



地震 自宅から離れた場所にいる時は

災害発生から3日程度は混乱が続きます。安全な場所にとどまり、情報収集を行いましょう。

●むやみに移動・帰宅を始めない

公共交通機関が運行を停止している状態で、「とりあえず駅へ」と人が集まれば、鉄道駅構内や駅周辺道路に人があふれ、余震による周辺建物からの落下物を避けたり、火災からの避難行動が思うようにとれないなど、怪我や、命を落とすことになる恐れがあります。

●勤務先・通学先の近くにいる時は

一旦戻り、勤務先・通学先の建物が安全であれば、そこで待機しましょう。

徒歩帰宅支援
ステーション



水道水やトイレなどの支援
を受けることができます。

避難所の過ごし方

●避難所の過ごし方

被災後に自宅で生活が継続できない場合は、避難所で避難生活を送ることになります。

避難した皆さんで協力して運営を行っていきましょう。

避難所へは、非常持出品・備蓄品を持っていきます。→P1011へ



受付



物資配布



掃除

災害の経験は、それだけで大きな不安やストレスの原因になります。慣れない集団生活を強いられる避難所の場合、さらに肉体的、精神的トラブルも起こりがちです。共助の精神が乗り越える力になります。

自主防災組織や
避難者が中心に運営

ルールを
守りましょう

助け合って、要配慮者
(高齢者・妊婦など)に心遣いを

③
災害時の
対処

ペットについては、①命・健康にかかわる物(フード、水など)、②飼い主の情報(連絡先)、③衛生(ペット用品)の順で準備しましょう。

●ペットについて

避難者が滞在する避難所の生活スペース内に、ペットを受け入れることはできません。施設管理者の指示のもと、屋根がある屋外で、ケージやキャリーに入れた状態で受け入れます。また、ペットに関する物の用意と世話は飼い主自身で行うことになります。

避難所への避難の他には、自宅や親戚、友人宅への避難、車中避難も考えられます。いずれの場合も、災害に備え、日頃からケージに慣れさせておくことや、ペットフードや食器、トイレ用品などの準備が必要です。



避難所での共同生活のために、日ごろから心がけましょう。

しつけを
普段から
しておきましょう

ケージや
キャリーに
慣れさせる

ペットフードや
食器の準備

決められた場所で
トイレができるようにする

普段使用しているトイレをもって
いくなど工夫しましょう。

在宅避難・車中避難の方法

●在宅避難の方法

生活空間を確保 しましょう

自宅が壊れておらず、隣の家が倒れてくる心配がなければ、自宅での生活が続けられる場合があります。「まずは1部屋」安心して過ごすことのできる空間をつくることから始めましょう。

片付けで 注意すること

充電式掃除機やほうき、ガムテープがあると便利です。
ごみをまとめるときは、段ボールやかごを活用できます。ごみの出し方は随時お知らせしますので、その指示に従ってください。

避難者登録 をしましょう

避難所以外で避難生活を送る場合でも、食べ物などの支給を受けます。
最寄りの避難所で「避難者の登録」をしましょう。

片付け時にけがを しないための服装



！ 突然の訪問者には注意しましょう

災害後は、不要な工事や無料をかたる契約を勧められるなどの事例があります。

●車中避難の過ごし方

避難所の代わりとしての「車中避難」は、エコノミークラス症候群、熱中症、一酸化炭素中毒など、健康面に留意すべき点が多いことから、原則として推奨しません。また、車中避難を行うための駐車場は確保されていません。

避難所の設備面の課題や他の避難者との関係などから車中避難を行う際は、次の点に注意してください。

エコノミークラス 症候群の 予防のために

- ・こまめに水分補給
- ・トイレを心配しなくてもよいように、携帯トイレを車内に
- ・足を水平に伸ばす
- ・定期的に運動
(可能なら車外に出て)

最寄りの避難所で「避難者登録」をしましょう

最寄りのガソリンスタンドを確認しましょう

他の避難者のいる場所で

状況に応じて冷暖房を活用

エンジンの使用は最小限に

余震による倒壊や、再度の大雨による浸水などから安全で、水平な場所に駐車

窓に断熱材を用意し暑さ・寒さ対策を(目隠しにも)

ワゴンやミニバンは後部座席とトランクを連結し寝床に

寝具を準備

ドアロックを忘れずに

コンパクトカーなら前の座席をリクライニングで

足元のスペースを荷物で埋め、段差解消

マフラー周辺の障害物に注意

被災した時のために覚えておきたいこと

●災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板

災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)は、災害の発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった際に、電話やインターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板です。災害時のスムーズな安否確認の手段として覚えておいてください。

どの電話番号を使うかを、一つ決めておくともスムーズです。

災害時以外にも、体験利用をできる日があります。

ご利用方法

被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板。

「災害用伝言ダイヤル 171」

利用ガイダンスにしたがってご利用ください。

伝言の録音方法

- ① **171** にダイヤルする
▼ガイダンスが流れます
- ② **録音する場合は1** 暗証番号を利用する録音は「3」
▼ガイダンスが流れます
- ③ () () () () () () () () () ()
被災地の電話番号・携帯電話・PHS電話の電話番号をダイヤルしてください。
※市外局番から入力してください。

伝言の再生方法

- ① **171** にダイヤルする
▼ガイダンスが流れます
- ② **再生する場合は2** 暗証番号を利用する再生は「4」
▼ガイダンスが流れます
- ③ () () () () () () () () () ()
被災地の電話番号・携帯電話・PHS電話の電話番号をダイヤルしてください。
※市外局番から入力してください。

家族等の安全がインターネット上で確認できる。

「災害用伝言板 web 171」

画面の指示によりご利用ください。

登録方法

- ① <https://www.web171.jp> にアクセス
- ② **電話番号を入力**
() () () () () () () () () ()
被災地の電話番号・携帯電話・PHS電話の電話番号を入力してください。
※市外局番から入力してください。
- ③ 画面の指示に従って、**文字**による伝言を登録してください。

閲覧方法

- ① <https://www.web171.jp> にアクセス
- ② **電話番号を入力**
() () () () () () () () () ()
被災地の電話番号・携帯電話・PHS電話の電話番号を入力してください。
※市外局番から入力してください。
- ③ 画面の指示に従って、**文字**による伝言の追加登録してください。

●罹災証明書・被災証明書

罹災証明書は人が住むための住居が自然災害(震災、風水害等)の被害を受けた場合に、その被害程度を判定し証明するものです。被災証明書は住居以外のもの、例えば、居住を伴わない建物(店舗、事務所、工場など)、屋外の設置物(倉庫や塀など)、自動車、家財などが自然災害(震災、風水害等)の被害を受けた場合、被災の程度や被災事実を証明するものではありませんが、家屋以外で被害に遭われた方で、被災届出証明が必要な場合は、申請してください。

この証明書は、被災時における支援制度申請や保険金申請等に必要となる場合があります。

公的な支援…仮設住宅の貸与、被災者生活再建支援制度、各種税の減免など

私的な支援…各種保険、義援金配分、職場からの見舞金など

被害状況の写真撮影・保存のお願い：現地調査の前に建物の除去や被害箇所が分からなくなるような修理、片づけをしてしまうと調査が困難となるため、あらかじめ可能な限りご自身で被害状況について写真を撮影し、保存していただくようお願いいたします。

問い合わせ先 税務課 ☎0566-95-9879

●応急危険度判定

大規模地震発生後の余震などによる二次災害を防止するために市が必要と判断した場合、被災建築物応急危険度判定士を派遣して建築物の判定を実施します。判定結果は、「危険(赤色)」「要注意(黄色)」「調査済(緑色)」の3種類のステッカーで建築物の見やすい場所に表示され、居住者や歩行者などにその建築物の危険性について情報提供します。「危険」「要注意」のステッカーが掲示されている建築物へは立ち入らないようにしてください。

※被災後、申請により発行される「罹災証明書」の判定とは異なります。

問い合わせ先 建築課 ☎0566-95-9908

●支援制度

災害で受けられた被害に応じて、各種支援制度の対象となることがあります。詳しくは市までお問い合わせください。

名称	概要
災害弔慰金	災害救助法が適用された場合、災害により死亡した方の遺族に支給されます。
災害障害見舞金	災害救助法が適用された場合、災害により重度の障害を受けた方に支給されます。
災害援護資金	災害救助法が適用された場合、負傷または住居、家財に被害を受けた方に支給されます。
災害見舞金 (碧南市独自制度)	自然災害または火災の場合、死亡、負傷または住宅・家財の滅失・焼失、床上浸水の被害を受けた際に支給されます。



市民の皆様へ

災害から身を守るためには、まず、自分の命は自分で守る必要があります。
また、いざというときに頼りになるのは、地域の助け合いです。
そのため、家庭や地域で防災・減災について話し合ってください、普段から
災害への備えを心掛け、市や地域の防災訓練に積極的に参加し、災害時に行
動に移せるようにしましょう。